

事業

1 平成23年度事業報告

一般会計事業

117,242,292 円

1 文化事業 14,736,964 円

事務局事業

新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援した。

(1) 主催事業 8,306,154 円

ミニライブコンサート (324,630)

新潟市内の演奏家の発表の場をつくり出すとともに、市役所を訪れた市民が気軽に音楽を楽しむコンサートを開催した。

開催日 毎月第3水曜日 午後0時20分～午後0時50分

場 所 市役所本庁舎1階市民ロビー

伝統文化ふれあい事業 (1,000,315)

新潟の歴史と風土に培われてきた伝統文化、伝統芸能を紹介することで、それらを次世代に継承し、各団体の活性化を図った。

・第10回にいがた総おどり祭(下駄総踊り)

主 催 新潟総踊り祭実行委員会ほかとの共催

開催日 平成23年9月17日～19日 3日間

場 所 万代シティ、駅南けやき通りほか

来場者 280,000人

文化講演会 (433,988)

著名な編集者を講師に招き、講演会を開催した。

開催日 平成23年11月23日

場 所 市民プラザ

講 師 石原 正康

演 題 「強みを知って、生まれてくるもの」

入場者 300人

坂口安吾顕彰事業 (6,547,221)

新潟市が管理する安吾 風の館(旧市長公舎)で下記展覧会を開催したほか、「坂口安吾デジタルミュージアム(HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施等により安吾の普及啓発に努めた。また、引き続き関連資料の調査研究を行った。

・「第2回 旅 馬庭念流 - 立川文庫の世界 -」展

開催日 平成23年4月2日～7月24日

内 容 安吾が少年時代に夢中になった立川文庫。その世界の中で描かれた剣法を少年時の憧れそのままに取材した様子を紹介した。

入場者 1,903人

・「安吾と信長」展

開催日 平成 23 年 8 月 6 日～11 月 27 日

内 容 安吾が惹かれた戦国武将、織田信長の魅力を自筆原稿や制作メモ、文献資料などから探った。

入場者 2,048 人

・「安吾をめぐる人々 献吉と安吾」展

開催日 平成 23 年 12 月 3 日～平成 24 年 3 月 20 日

内 容 安吾とその長兄、献吉との間に交わされた書簡や資料、安吾作品などを通して、二人の関係を探った。

入場者 1,317 人

(2) 共催・協賛事業 3,150,630 円
共催事業

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出した。

・第 59 回新潟市芸能まつり (2,500,000)

開催日 平成 23 年 10 月 2 日～12 月 11 日 入場者 12,103 人

・第 43 回新潟市美術展 (350,000)

開催日 前期：平成 23 年 11 月 1 日～11 月 6 日 / 後期：平成 23 年 11 月 8 日～11 月 13 日

入場者 7,414 人

・第 25 回新潟市郷土芸能発表会 (300,000)

開催日 平成 23 年 7 月 3 日 入場者 230 人

(3) 表彰顕彰事業 114,730 円

新潟市で開催される公募展に財団賞を交付し、底辺の拡大を図った。

- ・新潟市美術展 6 部門
- ・アークベル県民アマチュア絵画展 2 部門
- ・全国水墨画美術展 1 部門
- ・光風会新潟支部展 1 部門
- ・二科新潟展 1 部門
- ・新潟県工芸会展 1 部門

(4) 支援助成事業 3,165,450 円

市民の自発的な文化活動の活性化と新潟市の文化基盤の充実を目的として、市民が行う文化事業に対して、申請時期を上期・下期の2期に分け、上限20万円で助成金を交付した。(助成対象事業は審査会に諮って決定)

期 別	事 業 実 施 期 間	申請件数	交付件数	交付金額
平成23年度 上 期	平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	13 件	11 件	1,500,000 円
平成23年度 下 期	平成23年10月1日から 平成24年3月31日まで	10 件	8 件	1,595,000 円
合 計		23 件	19 件	3,095,000 円

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 102,505,328 円

音楽文化会館管理事業

昭和52年11月に開館した音楽文化会館は、13の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成10年度より当財団がその管理を受託している。

平成23年度も市民芸術文化会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行った。

ホールの管理

練習室(13室)の管理

平成23年度音楽文化会館利用者数 175,170 人

3 会議の開催状況

(1) 理事会

第1回 平成23年5月26日

- ・平成22年度事業報告、収支決算について
- ・平成23年度一般会計補正予算について

第2回 平成24年1月24日

- ・移行認定申請に伴う定款変更について
- ・移行認定申請に伴う役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程について
- ・新制度移行に伴う最初の代表理事の選任について
- ・新制度移行に伴う最初の評議員について(報告)

第3回 平成24年3月23日

- ・平成24年度事業計画、予算について

- ・新制度移行に伴う最初の代表理事の変更(案)について
- ・移行認定申請に伴う定款の修正(案)について
- ・新制度移行に伴う規程、規則の制定について(評議員会運営規程、理事会運営規程、理事の職務権限規程、処務規程、会計規程、職員就業規則、任期付職員就業規則、嘱託職員就業規則、臨時職員就業規則、育児休業等規程、介護休業等規程、給与規程、旅費規程、情報公開規程、個人情報保護規程)

(2) 評議員会

第1回 平成23年5月26日

- ・助成事業審査員の互選について
- ・平成22年度事業報告、収支決算について(報告)
- ・平成23年度一般会計補正予算について(報告)

第2回 平成24年1月24日

- ・移行認定申請に伴う定款変更について
- ・移行認定申請に伴う役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程について
- ・新制度移行に伴う理事・監事の選任について
- ・新制度移行に伴う最初の代表理事の選任について
- ・新制度移行に伴う最初の評議員について(報告)

第3回 平成24年3月23日

- ・平成24年度事業計画、予算について
- ・新制度移行に伴う理事の変更(案)について
- ・新制度移行に伴う最初の代表理事の変更(案)について
- ・移行認定申請に伴う定款の修正(案)について
- ・新制度移行に伴う規程、規則の制定について(評議員会運営規程、理事会運営規程、理事の職務権限規程、処務規程、会計規程、職員就業規則、任期付職員就業規則、嘱託職員就業規則、臨時職員就業規則、育児休業等規程、介護休業等規程、給与規程、旅費規程、情報公開規程、個人情報保護規程)(報告)

1 文化事業(指定管理事業) 444,569,038 円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館など諸施設を十分に活用した、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行った。

また、りゅーとぴあ音楽文化会館を芸術文化活動の拠点施設として、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術等を発信しながら芸術文化の振興を図った。

さらに、東日本大震災を受けて、避難所訪問コンサートや専属アーティストによる復興支援公演を行った。

(1) 音楽事業 163,797,524 円

東京交響楽団との提携による上質で幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい世界水準の演奏家招聘やオルガン、オペラなどの音楽愛好者拡大のための演奏会、さらには音楽文化会館でのコンサートなど多様な鑑賞機会を提供することにより、聴衆のレベル向上と拡大に努めた。

特に、21年度にハイドン没後200年を記念して開始した作曲家ツィクルスを継続し、23年度はハイドン、モーツァルトに続く音楽史上の巨匠ベートーヴェンをテーマに「りゅーとぴあベートーヴェン・ツィクルス」()を開催し、新しい視点による企画で聴衆の関心を引き起こして幅広い聴衆の拡大を図った。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図った。

鑑賞事業 (132,761,925)

- 東京交響楽団シリーズ -

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第64回 平成23年4月10日(日) ~モーツァルト：交響曲第41番~

公演中止となった平成23年3月13日(日)公演の代替公演

第65回 5月22日(日) ~マーラー：交響曲第5番~

第66回 7月17日(日) ~モーツァルト：交響曲第25番~

第67回 9月4日(日) ~ベートーヴェン：交響曲第9番~

第68回 11月6日(日) ~シベリウス：交響曲第5番~

第69回 平成24年1月15日(日) ~ベートーヴェン：交響曲第6番「田園」~

第70回 3月25日(日) ~モーツァルト：ミサ曲「戴冠式ミサ」~

・コントホールへようこそ~わくわくキッズコンサート~5回公演 平成23年11月7日(月)・8日(火)

東京交響楽団団員による学校訪問演奏 平成23年10月18・19・20日 市内35小学校

・特割コンサート

平成23年11月7日(月)

・東響定期+

仙台フィルハーモニー管弦楽団

平成23年10月16日(日)

- ピアノ・リサイタルシリーズ -

- シリーズ 24 平井千絵 (フォルテ・ピアノ) 平成 23 年 10 月 6 日(木) スタジオA
- シリーズ 25 イリーナ・メジューエワ No.1 平成 23 年 12 月 4 日(日)
- シリーズ 26 イリーナ・メジューエワ No.2 平成 23 年 12 月 20 日(火)

- 歌の花束シリーズ -

- シリーズ 19 子どもの歌のコンサート&オペラ《ピノッキオ》平成 23 年 12 月 23 日(金)

- カルテットシリーズ -

- シリーズ 24 クアルテット・エクセルシオ 平成 23 年 9 月 21 日(水) スタジオA
- シリーズ 25 クアルテット・エクセルシオ 平成 23 年 10 月 21 日(金)スタジオA
- シリーズ 26 クアルテット・エクセルシオ 平成 23 年 12 月 6 日(火)スタジオA
- シリーズ 27 クアルテット・エクセルシオ (総集編) 平成 24 年 2 月 4 日(土)

- オルガンシリーズ -

- ・山本真希リサイタルシリーズ No.12 平成 23 年 7 月 15 日(金)
- ・山本真希リサイタルシリーズ No.13 平成 24 年 2 月 25 日(土)
- ・オルガン・リサイタルシリーズ ロレンツォ・ギエルミ 平成 23 年 9 月 3 日(土)
- ・オルガン・クリスマスコンサート 平成 23 年 12 月 16 日(金)

- りゅーとぴあオペラ劇場シリーズ -

- ・りゅーとぴあオペラ劇場オペラ・コンサート 2012 平成 24 年 3 月 3 日(土)
～ヴェルディ「リゴレット」ハイライト～

- ホール体験事業 -

- ・1 コインコンサート
 - Vol.51「ヴァイオリン」 平成 23 年 4 月 9 日(土)
 - Vol.52「ピアノ」 平成 23 年 5 月 27 日(金)
 - Vol.53「オルガン」 平成 23 年 6 月 23 日(木)
 - Vol.54「マリンバ&パーカッション」 平成 23 年 9 月 7 日(水)
 - Vol.55「トリオ・リベルタ」 平成 23 年 10 月 8 日(土)
 - Vol.56「声楽」 平成 23 年 12 月 8 日(木)
- ・プライム・クラシック 1500
 - Vol.9「ピアノ」 平成 23 年 5 月 27 日(金)
 - Vol.10「マリンバ&パーカッション」 平成 23 年 9 月 7 日(水)

- その他 -

- ・避難所訪問早稲田桜子ヴァイオリン・コンサート 平成 23 年 4 月 8 日(金)
- ・高嶋ちさ子 12 人のヴァイオリニスト 平成 23 年 4 月 23 日(土)
- ・石田純一 & 熊本マリ「作曲家のラブレター」 平成 23 年 6 月 10 日(金)
- ・茂木大輔のオーケストラコンサートシリーズ No.7 平成 23 年 11 月 19 日(土)

- ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」 平成 24 年 1 月 8 日(日)
- ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「ニューイヤー・コンサート」 平成 24 年 1 月 8 日(日)

育成・普及事業 (31,035,599)

- オルガン事業 -

・オルガン普及プログラム

りゅーとぴあオルガン講座

入門講座

市民オルガン講座

ポジティブオルガン使用の半年コース 通年

基礎講座

ジュニアコース

ポジティブオルガン使用の半年コース 通年

一般コース

ポジティブオルガン使用の1年コース 通年

応用講座

応用コース

大オルガン使用の1年コース 通年

オルガン・サマーデイズ

平成 23 年 8 月 5 日(金)~6 日(土)

ニューイヤー・オルガンスペシャル

平成 24 年 1 月 14 日(土)

オルガン音楽隊

平成 23 年 12 月 9 日(金)臨港病院

- ジュニア等育成事業 -

・にいがた東響コーラス

平成 23 年 4 月~平成 24 年 3 月

・ジュニアオーケストラ教室育成事業

第 30 回定期演奏会

平成 23 年 9 月 11 日(日)

すみだトリフォニーホール演奏会

平成 23 年 8 月 9 日(火)墨田区

クリスマス演奏会

平成 23 年 12 月 23 日(金)音文

・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会

通年

・ジュニア合唱団育成事業

第 21 回定期演奏会

平成 23 年 7 月 24 日(日)

新潟県少年少女合唱団合同演奏会

平成 23 年 8 月 21 日(日)

新潟市少年少女合唱交歓演奏会

平成 24 年 2 月 18 日(土)

雪梁舎美術館「良寛展」コンサート

平成 23 年 5 月 22 日(日)市内

朝日酒造クリスマスコンサート

平成 23 年 12 月 23 日(金)長岡市

新潟県文化振興財団主催オペラ《てかがみ》

平成 24 年 1 月 29 日(日)県民会館

・ジュニア邦楽教室育成事業

第 16 回定期演奏会

平成 23 年 7 月 31 日(日)音文

・ジュニア音楽教室第 8 回スプリングコンサート

平成 24 年 3 月 31 日(土)

- その他 -

・市民音楽講座(音文リレ-コンサート)

平成 23 年 11 月 18 日(金)・19 日(土)・20 日(日)音文

・コンサートホール企画連絡会議

通年

(2) 演劇事業 91,489,586 円

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場プロデュース企画及び小劇場系の演劇公演や伝統的な古典芸能など様々な舞台芸術公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の定着を目指した。

また、演劇スタジオ APRICOT、国際児童青少年芸術フェスティバルの開催により次世代を担う子どもたちの育成に努めるとともに、演劇祭により地域の劇団との交流を深め、更なる演劇活動の普及振興を図った。

鑑賞事業 (74,849,681)

- ・二兎社公演「シングルマザーズ」1回公演 平成23年4月18日(月)
- ・「第二十三回ふるまち新潟をどり」2回公演 平成23年6月25日(土)
- ・「淋しいのはお前だけじゃない」1回公演 平成23年7月9日(土)
- ・現代能楽集「奇ッ怪~其ノ式」1回公演 平成23年9月6日(火)
- ・「百物語~第二十九夜~」1回公演 平成23年9月20日(火)
- ・「文楽公演」2回公演 平成23年10月3日(月)
- ・「春風亭小朝独演会」(共催)1回公演 平成23年10月20日(木)
- ・「猟銃~The Hunting Gun」1回公演 平成23年11月6日(日)
- ・音楽劇「ピアフ」1回公演 平成23年11月9日(水)
- ・「おやすみ、かあさん」2回公演 平成23年12月6日(火)・7日(水)
- ・「90 ミニッツ」2回公演 平成24年2月4日(土)・5日(日)

育成・普及事業 (16,639,905)

- ・「国際児童青少年芸術フェスティバル TACT/FEST」6回公演 平成23年7月29日(金)~31日(日)
- ・演劇スタジオキッズコース APRICOT (夏季公演)
「スーホの白い馬」5公演 平成23年8月19日(金)~21日(日)
- ・演劇スタジオキッズコース APRICOT (春季公演)
「お芝居探検隊」6回公演 平成24年3月24日(土)~28日(水)
- ・「第2回芸術のミナト 演劇祭」16回公演 平成24年3月10日(土)~20日(火・祝)

(3) 能楽事業 27,267,351 円

伝統様式の本格的な能舞台を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた公演と能・狂言に対する知識や興味を高める能楽講座を開催した。

また、囃子や狂言の出前ワークショップの開催により子どもたちへの能楽普及を図った。

鑑賞事業 (23,902,171)

- ・春の能楽鑑賞会(観世流)2回公演 平成23年4月9日(土)
- ・秋の能楽鑑賞会(宝生流)2回公演 平成23年10月22日(土)
- ・「茂山狂言公演」2回公演 平成23年7月16日(土)・17日(日)
- ・「野村万作・萬斎狂言公演」2回公演 平成23年11月13日(日)
- ・能楽基礎講座特別版スペシャル公演新作能「影媛」1回公演 平成24年1月21日(土)

育成・普及事業 (3,365,180)

- ・能楽基礎講座特別版「馬場あき子 能楽の愉しみ」(馬場講師)3回 平成23年5月21日(土)、9月3日(土)、12月11日(日)

- ・りゅーとぴあ能楽基礎講座(山崎講師) 1回 平成 23 年 12 月 3 日(土)
- ・「観世流能楽鑑賞教室」(共催) 1 回公演 平成 23 年 9 月 11 日(日)
- ・能楽ワークショップ [囃子] (共催) 3 回 平成 23 年 6 月 3 日(金)・4 日(土)
- ・能楽ワークショップ [狂言] (共催) 4 回 平成 24 年 2 月 22 日(水)・23 日(木)
- ・「さわってみよう能の世界」(共催) 1 回 平成 24 年 3 月 29 日(木)

(4) 新潟発創造事業 115,813,637 円

専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信した。

平成 23 年度は、りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズで、新作第七弾「ペリクリーズ～船上の宴～」を製作し、新潟と東京で公演した。また、この作品及び企画をテーマとしたワークショップとプレ・シアタートークを上演に先立って開催した。

レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism は、外部振付家招聘企画第 4 弾として、2 組のゲスト振付家による新作と芸術監督・金森穰振付レパートリーの 3 作品からなる新作「OTHERLAND」を公演した。新潟での初演後、滋賀県でも公演を行った。また、前年度に新潟限定公演として初演し、好評を博した Noism1 と Noism2 による合同公演、劇的舞踊「ホフマン物語」の再演を 2 日間行ったのち、今年度は特別企画として市内の小中学校へ通う児童・生徒と保護者及び教職員を対象とした無料招待公演を実施し、舞踊の普及に努めた。

研修生カンパニー Noism2 は、春の定期公演を新潟で実施したのち、初めてのツアーとして県内 2 か所（柏崎市・上越市）で公演し、活動の幅を広げた。

- ・りゅーとぴあ 能楽堂シェイクスピアシリーズ第七弾「ペリクリーズ～船上の宴～」

新潟公演 3 回公演 平成 23 年 9 月 8 日(木)～10 日(土)

東京公演 3 回公演 平成 23 年 9 月 23 日(金・祝)・24 日(土)

- ・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism

りゅーとぴあ専属アーティスト震災復興支援公演 平成 23 年 7 月 1 日(金)

外部振付家招聘企画第 4 弾 「OTHERLAND」 (第 14 作公演)

平成 23 年 5 月 27 日(金)～29 日(日)

滋賀公演 平成 23 年 6 月 18 日(土)

サイトウ・キネン・フェスティバル松本 2011

ハルトク ダブル「中国の不思議な役人」「青ひげ公の城」

平成 23 年 8 月 21 日(日)、23 日(火)、25 日(木)、27 日(土)

中国公演 平成 23 年 9 月 1 日(木)

上海公演 平成 23 年 9 月 7 日(水)

サイトウ・キネン・フェスティバル主催事業。Noism1&2 がオペラ 2 作品に出演
Noism1 & Noism2 合同公演 改訂版再演 劇的舞踊「ホフマン物語」

平成 23 年 12 月 16 日(金)・17 日(土)

小・中学生特別招待公演 平成 23 年 12 月 18 日(日)

Noism2 春の定期公演 2012 平成 24 年 2 月 17 日(金)～19 日(日)

柏崎市公演 平成 24 年 3 月 2 日(金)

上越市公演 平成 24 年 3 月 3 日(土)

Noism1 & Noism2 震災復興特別公演 於：仙台 平成 24 年 3 月 13 日(火)

Noism こどものためのからだワークショップ

(新潟市立山の下小学校受託事業)

平成 23 年 6 月 3 日(金) 山の下小学校

Noism こどものためのからだワークショップ

/ 大人のためのからだワークショップ

平成 23 年 6 月 5 日(日) 各 1 回 滋賀県立劇術劇場 びわ湖ホール

Noism こどものためのからだワークショップ

(新潟市立白南中学校受託事業)

平成 23 年 7 月 12 日(火) 白南中学校

Noism こどものためのからだワークショップ

(財団法人新潟県文化振興財団 / 柏崎市産業文化会館 受託事業)

平成 24 年 1 月 22 日(日) 柏崎市産業文化会館

Noism こどものためのからだワークショップ / Noism バレエ

平成 24 年 3 月 14 日(水) 各 1 回 エル・パーク仙台

第 54 回全日本女子体育研究大会・新潟大会 特別公演

平成 23 年 11 月 19 日(土) 新潟県民会館

(5) 共催事業 1,040,508 円

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図ったほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行った。

なお、第 2 回「ラ・フォル・ジュルネ新潟 2011」音楽祭では、新潟市などで構成する実行委員会に参加し、主催事業と連携を取りながら、広範な集客を図った。

- ・「ラ・フォル・ジュルネ新潟 2011」音楽祭 平成 23 年 5 月 1 日(日)・8 日(日)
- ・第 59 回新潟市芸能まつり 平成 23 年 10 月~12 月音文ほか
- ・第 47 回関東高等学校演劇研究大会(新潟会場) 平成 23 年 12 月 23 日(金)~25 日(日)
- ・「劇場で踊ろう! ダンスキッズ大集合」 平成 24 年 1 月 8 日(日)
- ・バーデン市劇場 歌劇《カルメン》 平成 23 年 9 月 28 日(水)
- ・英国近衛兵軍楽隊 平成 23 年 10 月 1 日(土)
- ・イ・ムジチ合奏団 平成 23 年 10 月 4 日(火)
- ・佐渡裕指揮ベルリン・ドイツ交響楽団 平成 23 年 10 月 28 日(金)
- ・「血の婚礼」 3 回公演 平成 23 年 8 月 6 日(土)・7 日(日)
- ・ウィーン放送交響楽団 平成 24 年 3 月 7 日(水)

(6) 広報営業事業 21,848,479 円

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ならびに、事業ごとの企業協賛募集など広報・営業活動を効果的に行い、集客を図った。

また、会館情報を積極的に発信し、会館の知名度とイメージアップを図った。

- ・広報・営業事業
- ・音楽広報事業
- ・演劇広報事業

- (7) 調査研究諸費 1,138,154 円
 次年度以降の事業の企画立案のため、先進ホールや公演などについて調査した。
- (8) 事業企画諸費 11,482,026 円
 音楽、演劇、舞踊等の各分野において、専門家から指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施した。また、専属オルガニストを引き続き設置した。
 ・芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
 ・専属オルガニスト
- (9) 事業管理経費 10,691,773 円
 事業実施に係る管理諸経費（託児サービス、チケットシステム、コピー代、研修、郵便料金他）
- 2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 592,954,776 円

市民芸術文化会館管理事業

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

平成 23 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行った。

- コンサートホールの管理
- 劇場の管理
- 能楽堂の管理
- ギャラリーの管理
- スタジオの管理
- 練習室の管理

- 3 付帯事業 39,647,880 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努めた。

- 友の会の運営
- ショップの運営
- 飲食サービスの充実
- バックステージツアーの実施

平成 23 年度市民芸術文化会館入館者数 362,120 人

新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等 188,451,941 円

1 文化事業(指定管理事業) 21,412,818 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 959,700 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。

(2) 企画展示事業 12,188,268 円

市民に身近な題材や市民にとって興味深い資料・地域等をテーマとした展示を4本開催するとともに平成24年度開催予定の企画展示の準備業務を行った。

「新潟美人」 (2,169,693)

「新潟美人」が芸妓をさす言葉として定着した江戸時代までさかのぼり、「新潟美人」を表現する書籍や写真、新聞、雑誌などのメディアに着目して展示し、「新潟美人」のイメージがどのように形成されてきたかを示した。講演会、川田芳子主演の活動写真上映会、子ども向けの体験イベント等を開催した。

開催期間 平成23年4月23日～6月19日 50日間

観覧者数 6,566人(うち有料観覧者 5,066人、無料観覧者 1,500人)

「発掘された日本列島2011」 (6,994,193)

例年開催されている文化庁主催の巡回展「発掘された日本列島」を招致した。近年注目された全国21遺跡約500点の発掘資料を展示した。さらに開催地の地域展として「海拔0m以下から発見される遺跡」を旧税関庁舎内で開催した。また、文化財センターと共催のシンポジウムや文化庁調査官による講演会のほか、鉄づくりや土器づくりの体験イベントを実施した。

開催期間 平成23年8月9日～9月11日 31日間

観覧者数 3,737人(うち有料観覧者 2,267人、無料観覧者 1,470人)

(地域展分の6,414人を含めると10,151人)

むかしのくらし展「きょうは何を着よう」 (1,431,142)

明治から昭和30年代までの着るものついでの変化、特に着物から洋服への移り変わりを紹介した。また、着るものに関する生活の道具なども展示した。体験イベントとして、染色や糸紡ぎ、裂き織りを行った。

開催期間 平成23年9月23日～12月18日 73日間

観覧者数 10,998人(無料観覧者)

活動展示2011「伝える」 (516,196)

「伝える」をキーワードに、資料を後世に伝える、また、歴史や文化の情報を市民に伝え

るなどの博物館の活動を紹介した。そうした博物館の活動をより具体的に示し、かつ理解を促すために、市民参加型のイベントを 15 種 23 回開催した。

開催期間 平成 24 年 1 月 7 日～平成 24 年 2 月 12 日 32 日間

観覧者数 3,438 人（無料観覧者）

その他 (1,077,044)

平成 24 年度に開催する企画展「にいがたの近代建築」展の印刷物作成ほかの準備を行った。

(3) 教育普及事業 694,588 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムや茶の間の押入スペースを使った展示(展示替え 2 回/年)を行なった。

博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うことで対応した。また、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講座を開講するとともに、大学生の実習を受入れ講義指導を行った。

講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広い年齢層や個別のニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全 9 回、体験講座 全 2 回、くらし体験講座 全 3 回、

くずし字解読入門講座 全 4 回、館長講座 全 4 回、夏休みこども講座 全 2 回など

ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、活動を支援した。そのほか、みなとびあフェスティバルや写生会などボランティア主催の自主企画などを実施した。

(4) 施設普及事業 1,146,682 円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

「新収蔵品展」・「収蔵品展」の開催

「新収蔵品展」では、今年度に寄贈いただいた民俗資料・文書資料・メディア資料・美術資料等の中から、約 50 点を選んで展示した。

「収蔵品展」は、当館が所有する資料を市民に公開し、理解を深めてもらうことを目的に実施するもので、今年度は「戦争の記憶」をテーマに収蔵資料から 33 点を選んで展示した。江南区に墜落した B29 の破片や出征軍人関係資料などを紹介した。

「新収蔵品展・収蔵品展」開催期間 平成 24 年 2 月 25 日～3 月 31 日（30 日間）

(実開催会期～4月1日、31日間)

地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共催で、新潟の港や下町のPRを目的に以下の事業を開催した。

つなげようプロジェクト in みなとぴあ (5/15) 夕涼みコンサート (8/20)

みなと・しもまち・川まつり 2011(8/21、雨天のため中止。製作した灯籠を旧税関に展示。)

新潟みなと水遊記開幕式 (7/16)

みなとぴあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員向けに提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき(流作場あたり)・館長バスツアー(寺泊・和島方面)・館長講演会を行った。

(5) 調査研究事業 1,185,673 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、そうした成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要8号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 5,237,907 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

また、東日本大震災の被害を受けた地域への文化財レスキューは、関係する博物館や施設との連携を図りながら対応した。

資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 166,720,493 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)

旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

旧新潟税関庁舎
史跡（石段、石積み、石庫等）

3 付帯事業 318,630 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

物販等ショップの運営

自動販売機設置

平成23年度歴史博物館入館者数 112,332 人

1 文化事業(指定管理事業) 2,643,476 円

「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する」という旧小澤家住宅の設置目的を達成するため以下の各種事業を行った。

(1) 常設・企画展示事業 1,066,360 円

【常設展】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介した。

【企画展】

道具蔵を使い、湊町・下町に関連する展示を行ったほか、主屋・新座敷の館内全体を使った展示を行った。また、新潟漆器組合、新潟ハイカラ文庫など地域団体と連携した展示・企画展を行った。

「新潟商家の屏風」展

みなとぴあの協力を得て、新潟市内で活躍した絵師や画家が描いた美しい屏風や新潟の風景を題材とする掛け軸を道具蔵・寝間・茶ノ間・藤ノ間・百合ノ間の各室で展示した。市内に高い技能や技術をもった絵師や画家がいたこと、当時の商家において屏風や軸を室内に飾って楽しんだ習慣があったことなど展示を通じて、新潟で息づく文化の一端を紹介した。

開催期間 平成 23 年 7 月 2 日～10 日 8 日間

観覧者数 1,562 人(うち有料観覧者 1,428 人、無料観覧者 134 人)

「湊祭・住吉祭・商工祭」

みなとぴあの協力を得て、新潟祭りの源流である江戸時代の湊祭り・大正期の住吉祭り・昭和期の商工祭に関して、湊祭りの様子を描いた「あまのてぶり」(複製)や住吉祭りの行列で使用した額、商工祭の様子を写した写真などを道具蔵・百合ノ間で展示した。新潟市内中心部の祭りの変遷、新潟ではぐくまれてきた祭り文化の一端について紹介した。

開催期間 平成 23 年 8 月 3 日～8 月 21 日 18 日間

観覧者数 1,669 人(うち有料観覧者 1,526 人、無料観覧者 143 人)

みちのく丸寄港記念企画展「新潟湊回船問屋の記録」

市民団体の新潟ハイカラ文庫と共催し、「みちのく丸」(再現された北前船)が青森より新潟に寄港したことに合わせて、明治期の新潟市内の地図や北前船の写真・新潟の商家が発行した色鮮やかな引き札・小澤家が所有していた北前船による商品の売買証文を展示した。湊町として栄えた新潟の明治期の様相と小澤家の歴史の一端を紹介した。

開催期間 平成 23 年 8 月 16 日～8 月 18 日 3 日間

観覧者数 619 人(有料観覧者 583 人 無料観覧者 36 人)

「助直と清廣」展

みなとびあの協力を得て、旧小澤家住宅の近隣で明治期以降道具鍛冶として営んできた助直と清廣の両店で注文制作された船大工道具や下駄職人が使用した道具を展示し、新潟の鍛冶職人の技術について紹介した。

開催期間 平成 23 年 9 月 3 日～9 月 19 日 15 日間

観覧者数 1,003 人（有料観覧者 902 人 無料観覧者 101 人）

「新潟漆器」展

新潟市漆器同業組合と共催し、江戸後期から明治期に制作された新潟漆器を道具蔵・寝間・通り土間・台所・藤ノ間・百合ノ間に展示し、竹塗りや錦塗りといった特徴ある新潟漆器の技法、漆器職人の高い技術など新潟漆器の価値を広く市民に周知した。また、企画展と併せて漆器制作体験として台所で、沈金体験を 9 回実施した。その他に離れ座敷で新潟漆器を使った弁当を楽しんでもらう「北前三味パック」という企画を 2 回実施するとともに、庭園を使ってアコースティック・ミニコンサートを 2 回実施し、展示とは異なった旧小澤家住宅の楽しみ方を試みた。

開催期間 平成 23 年 10 月 14 日～11 月 13 日 26 日間

観覧者数 1,994 人（有料観覧者 1,854 人 無料観覧者 140 人）

「江戸時代のひな人形 からくり人形」展

市民団体である「湊にいがた雛人形 町めぐり連絡会」と共催し、燕喜館・安吾風の館・砂丘館など市内 11 施設と連携協力し、町中の活性事業の一環として同展を実施した。当館では、小澤家旧蔵の雛人形とともに「ひなまつり連絡会」より出品された江戸から大正期の雛人形やからくり人形を道具蔵や藤ノ間で展示し、江戸や京都より新潟にもたらされたすばらしい雛人形の数々を紹介した。

開催期間 平成 24 年 2 月 21 日～3 月 20 日 25 日間

観覧者数 1,456 人（有料観覧者 1,324 人 無料観覧者 132 人）

(2) 教育普及事業 197,780 円

古文書講座（中級） 全 7 回（12 月 23 日～3 月 2 日）

みなとびあの協力を得て、古文書をある程度読解できる人を対象とした中級講座を実施した。冬期で入館者が少ない時期を設定し、週一回程度の間隔で実施した。受講者は 9 名。

ボランティア育成

旧小澤家住宅の施設を案内解説するガイドボランティアを募集養成した。館がオープンする前段階で募集し、3 ヶ月かけて養成した。今年度登録したボランティア数は 47 名。オープン時の式典では、ボランティアが関係者に施設の案内解説を行った。

博学連携

舟栄中学校の総合学習の要望に応え、下町の歴史と当施設が地域の宝であることを中学生に理解してもらった。

湊小学校で出前授業を行い、住んでいる地域の歴史について紹介した。

(3) 施設普及事業 1,053,092 円

旧小澤家住宅の開館にともない、多くのメディアに取り上げられた。また、チラシ等の作

成し、本施設の利用促進をはかった。また、観覧者アンケートを実施し、来館者のニーズの把握につとめた。

- (4) 調査研究事業 256,680 円
小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、小澤家や湊町新潟の歴史について市民の理解を深めることを試みた。
みちのく丸寄港記念展では調査した北前船関係文書を展示し、小澤家の北前船経営の一端を紹介した。明治から大正期までの商家小澤家の経営のありようを博物館講座で紹介した。また、企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。
- (5) 収蔵資料保存管理事業 45,600 円
引き渡された資料と台帳データのつきあわせ作業を行い、確認作業を行った。また、今年度に小澤家より旅行鞆や絵はがき・写真が寄贈され、それらを保存管理するための準備を行った。
- (6) その他 23,964 円
広報宣伝のためのチラシを作成した。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 18,438,909 円

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービス向上に努め、旧小澤家住宅(情報案内所・藤ノ間・百合ノ間、道具蔵、離れ座敷等)の管理運営を行った。

平成23年度旧小澤家住宅入館者数 15,950 人

2 平成24年度事業計画

公1 事務局事業

21,252 千円

文化事業 21,252 千円

新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援する。

(1) 主催事業 9,127 千円

ミニライブコンサート (288)

新潟市内の演奏家の発表の場をつくり出し、市役所を訪れた市民に気軽に音楽を楽しんでもらう。

開催日 毎月第3水曜日 午後0時20分～午後0時50分

場 所 市役所本庁舎1階市民ロビー

伝統文化ふれあい事業 (2,001)

新潟の歴史と風土に培われてきた伝統文化、伝統芸能を紹介することで、それらを次世代に継承し、各団体の活性化を図る。

文化講演会 (459)

文芸作家らを講師に招き、講演会を開催する。

坂口安吾顕彰事業 (6,379)

新潟市が管理する安吾 風の館での資料展示を行うほか、「坂口安吾デジタルミュージアム(HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施により安吾の普及啓発に努める。また、引き続き関連資料の調査研究を行う。

(2) 共催・協賛事業 3,351 千円

共催事業 (3,150)

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出する。

・第60回新潟市芸能まつり (2,500)

・第44回新潟市美術展 (350)

・第26回新潟市郷土芸能発表会 (300)

協賛事業 (201)

市民が自発的に行う企画性に富んだ、創造的文化事業に対して資金的な支援をする。

(3) 表彰顕彰事業 131 千円

新潟市美術展などの新潟市で開催される公募展に財団賞を交付する。

(4) 支援助成事業 3,773 千円

市民の自発的な文化活動の活性化と新潟市の文化基盤の充実を目的として、市民が行う文化

事業に対して、申請時期を上期・下期の2期に分け、上限20万円で助成金を交付する。

(5) 受託事業 4,870 千円

新潟市が実施する下記の芸術家支援制度について、広報、申請受付、助成金等の振込などの事務を受託する。

新潟市芸術創造スペース助成制度

新潟市助成金等内定を受けた芸術家等への資金融資制度

1 文化事業(指定管理事業) 507,173 千円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行う。

また、りゅーとぴあと音楽文化会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図る。

(1) 音楽事業 182,550 千円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらに、オルガンの活用事業、オペラ・コンサート、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努める。

特に、24年度は、4年に1度開催している大晦日の年越しガラ・コンサート「にいがたジルヴェスターコンサート 2012」を開催して聴衆の関心を引き起こし、幅広い聴衆の拡大を図る。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図る。

なお、4月27日～29日に開催されるクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟」では、新潟市などで構成される音楽祭実行委員会に財団も参加し、主催事業と連携を取りつつ合わせて広範な集客を図る。

鑑賞事業 (151,161)

- 東京交響楽団シリーズ -

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第71回 平成24年5月27日(日) ～マーラー：「大地の歌」～

第72回 7月16日(月・祝) ～モーツァルト：交響曲第29番～

第73回 9月9日(日) ～チャイコフスキー：交響曲第6番「悲愴」～

第74回 10月13日(土) ～ラヴェル：ダフニスとクロエ～

第75回 11月11日(日) ～メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲～

第76回 平成25年3月3日(日) ～モーツァルト：～交響曲第38番「プラハ」

・コントホールへようこそ～わくわくキッズコンサート(5回公演) 平成24年11月13日(火)・14日(水)

・特割コンサート 平成24年11月14日(水)

・東響定期+ 京都市交響楽団 平成24年4月5日(木)

・にいがたジルヴェスターコンサート 2012 平成24年12月31日(月)～平成25年1月1日(火)

- ピアノ・リサイタルシリーズ -

シリーズ27 イリーナ・メジューエワ 平成24年9月7日(金)

シリーズ28 ユンディ・リ 平成24年10月4日(木)

シリーズ 29 クリスチャン・ツィメルマン

平成 24 年 12 月 1 日(土)

- 歌の花束シリーズ -

シリーズ 20 日本の歌手によるコンサート

平成 24 年 11 月

- カルテットシリーズ -

シリーズ 28 外来カルテット

平成 24 年 10 月

- オルガンシリーズ -

・ 山本真希リサイタルシリーズ No.14

平成 24 年 7 月 26 日(木)

・ 山本真希リサイタルシリーズ No.15

平成 25 年 3 月 2 日(土)

・ オルガン・リサイタルシリーズ ティエリ・エスケシュ

平成 24 年 9 月 28 日(金)

・ オルガン・リサイタルシリーズ 石丸由佳

平成 24 年 10 月 21 日(日)

・ オルガン・クリスマスコンサート

平成 24 年 12 月 22 日(土)

・ オルガン・オーダーコンサート

随時・通年

- リューとぴあオペラ劇場シリーズ -

・ リューとぴあオペラ劇場オペラ・コンサート 2013

平成 25 年 3 月 10 日(日)

- ホール体験事業 -

・ 1 コインコンサート

Vol.57 「箏・尺八」

平成 24 年 4 月 7 日(土)

Vol.58 「オルガン」

平成 24 年 5 月 31 日(木)

Vol.59 「ピアノ」

平成 24 年 6 月 15 日(金)

Vol.60 「声楽」

平成 24 年 9 月 26 日(水)

Vol.61 「ギター」

平成 24 年 10 月 25 日(木)

Vol.62 「ロシア民謡」

平成 24 年 11 月 24 日(土)

・ 全国 1 コイン・グランプリ NIIGATA

平成 24 年 9 月 13 日(木)

・ プライム・クラシック 1500

Vol.11 「ピアノ」

平成 24 年 6 月 15 日(金)

Vol.12 「ギター」

平成 24 年 10 月 25 日(木)

- その他 -

・ スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団

平成 24 年 6 月 22 日(金)

・ 前橋汀子ヴァイオリン・コンサート

平成 24 年 7 月 7 日(土)

・ リボンの国の音楽会～おやこでたのしむクラシック(2回公演)

平成 24 年 7 月 28 日(土)

・ 宮川彬良のコンチェルトンテ

平成 24 年 9 月 29 日(土)

・ オペラシアターこんにゃく座 オペラ《森は生きている》

平成 24 年 12 月 7 日(金)

・ トゥルーズ・キャピタル管弦楽団

平成 24 年 12 月 13 日(木)

・ 宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」

平成 25 年 1 月 6 日(日)

・ 宮川彬良とアンサンブル・ベガ「ニューイヤー・コンサート」

平成 25 年 1 月 6 日(日)

育成・普及事業 (31,389)

- オルガン事業 -

・オルガン普及プログラム

りゅーとぴあオルガン講座

入門講座

市民オルガン講座

ポジティブオルガン使用の半年コース

基礎講座

ジュニアコース

ポジティブオルガン使用の半年コース

一般コース

ポジティブオルガン使用の1年コース

応用講座

応用コース

大オルガン使用の1年コース

オルガン・サマーデイズ

平成 24 年 8 月

ニューイヤー・オルガンスペシャル

平成 25 年 1 月 13 日(日)

オルガン音楽隊

随時・通年

- ジュニア等育成事業 -

・にいがた東響コーラス

平成 24 年 6 月～平成 24 年 12 月

・ジュニアオーケストラ教室育成事業

第 31 回定期演奏会

平成 24 年 9 月 16 日(日)

クリスマス演奏会

平成 24 年 12 月 24 日(月・祝)音文

・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会

通年

・ジュニア合唱団育成事業

第 22 回定期演奏会

平成 24 年 7 月 22 日(日)

第 34 回新潟市少年少女合唱交歓演奏会

平成 25 年 2 月 16 日(土)

・ジュニア邦楽教室育成事業

第 17 回定期演奏会

平成 24 年 7 月 29 日(日)音文

・ジュニア音楽教室第 9 回スプリングコンサート

平成 25 年 3 月 31 日(日)

- その他 -

・市民音楽講座

通年

・コンサートホール企画連絡会議

通年

(3) 演劇事業 107,479 千円

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場製作の作品及び小劇場系の演劇公演や伝統芸能などの様々な舞台芸術を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の定着を目指す。また、「演劇スタジオ APRICOT」、「国際児童青少年芸術フェスティバル」により次世代を担う子どもたちの優れた舞台芸術に携わる人材や観客を育む。また、地域の劇団との交流を目的とした「芸術のミナト 演劇祭」など開催しながら、更なる芸術文化活動の振興を図る。

鑑賞事業 (90,268)

・「幻蝶」1回公演	平成24年4月19日(木)
・NYLON100「百年の秘密」2回公演	平成24年6月9日(土)・10日(日)
・「第二十四回ふるまち新潟をどり」2回公演	平成24年6月17日(日)
・「百物語」～第三十夜～1回公演	平成24年7月5日(木)
・「藪原検校」2回公演	平成24年7月14日(土)・15日(日)
・「しみじみ日本・乃木大将」2回公演	平成24年8月25日(土)・26日(日)
・「コンドルズ」1回公演	平成24年9月7日(金)
・ミュージカル「足ながおじさん」1回公演	平成24年9月22日(土)
・葛河思潮社「浮標」1回公演	平成24年10月20日(土)
・二兎社「こんばんは、父さん」1回公演	平成24年11月18日(日)
・「組曲虐殺」1回公演	平成25年1月23日(水)
・ままごと「あゆみ」(共催事業)1回公演	平成24年4月25日(水)
・「春風亭小朝独演会」(共催事業)1回公演	平成24年9月予定

育成・普及事業 (17,211)

・「国際児童青少年芸術フェスティバル TACT/FEST」	平成24年7月20日(金)~22日(日)
・演劇スタジオキッズコース APRICOT	通年(発表公演:夏季/春季)
・「第3回芸術のミナト 演劇祭」	平成25年3月中旬

(3) 能楽事業 29,222 千円

伝統様式の本格的な能舞台と劇場を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた公演と、能狂言に対する知識や興味を高める能楽講座を開催する。また、お囃子や狂言のワークショップの開催により子どもたちへの能楽普及を図る。

鑑賞事業 (24,701)

・「春の能楽鑑賞会」(宝生流)2回公演	平成24年6月9日(土)
・「秋の能楽鑑賞会」(観世流)2回公演	平成24年11月18日(日)
・「馬場あき子 能楽の愉しみ 特別公演」1回公演	平成25年2月16日(土)
・「茂山狂言公演」2回公演	平成25年3月
・「野村万作・萬斎古典狂言公演」2回公演	平成24年12月8日(土)

育成・普及事業 (4,521)

・「能楽基礎講座特別版～能楽の愉しみ」<馬場講座>3回	平成24年5月26日(土)、9月22日(土祝)、12月1日(土)
・「能楽基礎講座」<山崎講座>1回	(未定)
・観世流能楽鑑賞教室(共催事業)1回公演	平成24年9月29日(土)
・能楽ワークショップ[囃子](共催事業)	平成24年5月29日(火)・30日(水)
・能楽ワークショップ[狂言](共催事業)	平成25年1月
・「さわってみよう能の世界」1回公演(共催事業)	平成25年3月

(4) 新潟発創造事業 120,802 千円

専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信する。

平成 24 年度は、これまで実施してきた「りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズ」とは別のコンセプトによる「りゅーとぴあ能楽堂演劇シリーズ(仮称)」で新しい演劇創造事業に取り組む。本年度は試行的な公演を実施する。

レジデンシャル・ダンス・カンパニー-Noism は、平成 20 年より続いている見世物小屋シリーズの完結編として第 3 弾・新作「Nameless Voice～水の庭、砂の家、あるいはカモメの消えた星」を実施する。なお、本作は、開港都市にいがた 水と土の芸術祭 2012 の参加作品とする。

また、平成 23 年夏に外部委託公演としてサイトウキネンフェスティバル松本 2011 で発表したバルトーク作バレエ「中国の不思議な役人」をりゅーとぴあの劇場仕様に作り直し、新潟で初めて上演を予定。海外公演は、4 月にアメリカ・ワシントン DC、6 月にイタリア・フィレンツェで行う予定である。研修生カンパニー-Noism2 は春の定期公演のほか、レパートリー作品を持って市内・県内の学校や各地域ホールでの幅広い活動を展開する。

・りゅーとぴあ能楽堂演劇シリーズ(仮称)試行公演 (未定)

・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism

見世物小屋シリーズ第 3 弾 見世物小屋シリーズ 3 部作完結編

「Nameless Voice ～水の庭、砂の家」

平成 24 年 6 月 29 日(金), 30 日(土), 7 月 1 日(日), 27 日(金)～ 30 日(月)

10 月 27 日(土), 28 日(日), 11 月 2 日(金)～ 4 日(日)

彩の国さいたま芸術劇場 小ホール 7 月 6 日(金)～ 8 日(日)

静岡芸術劇場 7 月 21 日(土)・22 日(日)

愛知県芸術劇場 小ホール 10 月 12 日(金)・13 日(土)

金沢 21 世紀美術館 シアター 21 10 月 20 日(土)・21 日(日)

「中国の不思議な役人」 平成 24 年 12 月 22 日(土)・23 日(日)

Noism2 春の定期公演 2013 平成 25 年 2 月 22 日(金)～ 24 日(日)

海外公演

「ZONE」アメリカ・ワシントン DC 公演 平成 24 年 4 月 26 日(木)・27 日(金)

「青ひげ公の城」 / 「中国の不思議な役人」イタリア・フィレンツェ公演

平成 24 年 5 月 31 日(木)、6 月 3 日(日)、5 日(火)

(5) 共催事業

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行う。

・第 60 回新潟市芸能まつり

平成 24 年 10 月～ 11 月音文ほか

・「劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」

平成 25 年 1 月

(6) 広報営業事業 23,388 千円

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ならびに、企業協賛の募集など広報・営業活動を効果的に行い、集客を図る。

また、会館情報を積極的に発信し、会館の知名度とイメージアップを図る。

・広報・営業事業

・音楽広報事業

・演劇広報事業

- (7) 調査研究諸費 1,096 千円
 次年度以降の事業の企画立案のため、先進ホールや公演などについて調査する。
- (8) 事業企画諸費 11,634 千円
 音楽、演劇、舞踊等の各分野において、その専門家から指導・助言してもらい、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施する。また、専属オルガニストを引き続き設置する。
 ・芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
 ・専属オルガニスト
- (9) 事業管理経費 31,002 千円
 事業実施に係る管理諸経費（託児サービス、チケットシステム、コピー代、研修、郵便料金他）

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 672,694 千円

- (1) 市民芸術文化会館管理事業 574,847 千円

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

平成 24 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行う。

コンサートホールの管理

劇場の管理

能楽堂の管理

ギャラリーの管理

スタジオの管理

練習室の管理

- (2) 音楽文化会館管理事業 97,847 千円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成 10 年度より当財団がその管理を受託している。

平成 24 年度も市民芸術文化会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行う。

ホールの管理

練習室（13 室）の管理

新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

191,494 千円

1 文化事業(指定管理事業) 19,814 千円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新 32 千円

常設展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業 8,541 千円

市民に身近な題材や市民にとって興味深い資料・地域等をテーマとした展示を4本開催するとともに平成25年度開催予定の企画展示の準備業務を行う。

(仮称)「にいがたの近代建築」 (1,790)

開催期間 平成24年4月21日～6月10日 44日間

現存する建物、失われたものの中から、新潟市の近代とともに歴史を刻んだ建物を写真で紹介する。また、市民の保存運動によって保存され再生された建物もあわせて紹介する。

(仮称)「開墾の技術史」 (3,955)

開催期間 平成24年7月21日～8月26日 33日間

開墾の技術に焦点をあて、考古学、歴史学、民俗学のそれぞれの研究成果を市民に紹介するとともに、農耕のもつダイナミズムや新たな農業のイメージを提供する。

むかしのくらし展(仮称)「むかしのくらし・きほんの道具」 (1,311)

開催期間 平成24年9月15日～12月16日 77日間

小学校の単元と連動した展覧会。衣食住のそれぞれの分野から生活に欠かせない基本の道具を選び出して展示・紹介する。

活動展示2012 (444)

開催期間 平成24年12月8日～平成25年2月24日 62日間

調査・研究、資料保存、普及活動など、みなとぴあの様々な活動を展示紹介する。

その他 (1,041)

平成25年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

(3) 教育普及事業 1,060 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を購入する。

体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験

プログラムを、土・日・祝日を中心に年 50 回程度開催する。

博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講座や大学生の実習受け入れを行う。

講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

・博物館講座	年 10 回
・夏休みこどもたいけん講座	年 2 回
・民具講座	全 3 回
・たいけん講座	全 4 回
・館長講座	全 4 回
・古文書入門講座	全 5 回

ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。また新規にボランティアとして活動したいと希望する人々の養成を行う。

(4) 施設普及事業 3,093 千円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

収蔵品展・新収蔵品展の開催

開催期間 平成 25 年 3 月 9 日～3 月 31 日

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展と、24 年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

みなとぴあファンクラブ

「みなとぴあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きを開催する。

(5) 調査研究事業 910 千円

市民の関心を引き起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。24 年度も、当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地の暮らし」に合わせた調査を行う。また、テーマ研究や新潟市の歴史文化に関する学芸員の専門的な成果を、市民に報告・還元し、広く評価を受けるため、研究紀要を刊行する。

(6) 資料整理事業 6,178 千円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用す

ることを目的に、以下の事業を行う。

保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。博物館収蔵庫、石庫、新潟市文化財センター、旧木場小学校、旧板井保育園等に所蔵する資料が、少しでもよりよい状態で保存できるように収蔵施設及び展示設備の環境改善に努める。また、市外のほかの収蔵施設と協力する。

資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理するための基礎的データや資料活用するための詳細情報を調査・記録そしてデータベース化するとともに、資料の養生を行う。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 171,680 千円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)

旧第四銀行住吉町支店(応接室、会議室、日本間)

屋外施設(広場、堀、園路等)

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

旧新潟税関庁舎

史跡(石段、石積み、石庫等)

1 文化事業(指定管理事業) 1,483 千円

「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。」という小澤家住宅の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 常設展示事業

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

(2) 企画展示事業 539 千円

「端午の節句飾り」展

開催期間 平成 24 年 4 月 21 日～5 月 6 日

端午の節句に合わせて小澤家に残る飾りを展示する。

「屏風展」

開催期間 平成 24 年 5 月 19 日～5 月 27 日

博物館協力の企画展。博物館所蔵の屏風、小澤家から借り受け南蛮図屏風を展示する。

第 2 回「新潟漆器」展

開催期間 平成 24 年 7 月 14 日～9 月 2 日

水と土の芸術祭関連企画展として、新潟漆器同業組合と共催。水によって運ばれた江戸時代から明治期にかけての新潟漆器を道具蔵や各室に展示紹介する。また、小澤家旧蔵の新潟漆器の座卓も展示する。

「新潟仏壇」展

開催期間 平成 24 年 10 月 13 日～11 月 18 日

新潟市仏壇組合との共催。新潟仏壇の技術を道具蔵・藤ノ間で展示紹介する。

「七三郎さんの旅行」展

開催期間 平成 24 年 12 月 1 日～12 月 27 日

小澤家旧蔵のトランク、旅行先での明治から昭和初期の絵はがきを道具蔵や次ノ間・寝間で展示する。

「正月飾り」展

開催期間 平成 25 年 1 月 4 日～1 月 14 日

小澤家旧蔵の羽子板や重箱を道具蔵・藤ノ間で展示する。

「小澤家の品々」展

開催期間 平成 25 年 1 月 19 日～2 月 3 日

小澤家旧蔵の火鉢など暖房具を展示する。

「雛人形」展

開催期間 平成 25 年 2 月 19 日～3 月 10 日

小澤家旧蔵の雛人形や近隣から雛人形を借りて道具蔵や藤ノ間で展示する。

「新潟の北前船関係史料」展 or 「新潟築港」展

開催期間 平成 25 年 3 月 16 日～4 月 7 日

博物館協力の企画展。北前船もしくは新潟築港に関する資料を道具蔵で展示する。

(3) 教育普及事業 205 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

体験学習事業

- ・篠笛演奏、雛人形折り紙制作、漆器制作等を行う。

博・学連携事業

- ・旧小澤家住宅を拠点とした町のにぎわい活性化を目指すための新潟大学との連携事業
- ・中学生の職業体験の受け入れ
- ・小学校への出前授業
- ・小学生を対象とした夏の宿泊体験

講座・講習・講演会事業

- ・企画展の内容に即した講座講演会
- ・庭木を楽しむ講習会 全 2 回
- ・庭木の撮影・室内の撮影方法講習会 全 1 回
- ・煎茶を楽しむ講習会（予定）
- ・古文書講座（中級編） 全 6 回 博物館の協力を得て実施
- ・住宅講座 博物館の協力を得て実施
- ・近隣地域住民を対象とした景観・家並み講座（予定）

ボランティア事業

- ・新規ボランティア養成

(4) 施設普及事業 354 千円

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うなど、本施設の利用推進を図る。

- ・奥座敷 2 階、離れ座敷の特別公開 平成 24 年 9 月 15 日～17 日
- ・中秋の名月を見ながらのミニコンサート 平成 24 年 9 月 30 日

(5) 調査研究事業 165 千円

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

- ・近隣現存土蔵所在確認と活用のための調査
土蔵を活かした町のにぎわい活性化を目指すための準備作業

(6) 収蔵資料の保存管理事業 170 千円

旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。

(7) その他事業費 50 千円

地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。

- ・ 市民茶会 平成 24 年 10 月 6 日～7 日
- ・ 下本町商店会との連携事業（予定）

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 26,225 千円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行う。

収1 付帯・施設貸与事業

72,630 千円

1 付帯事業 43,331 千円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 42,616 千円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努める。

友の会の運営

ショップの運営

飲食サービスの充実

バックステージツアーの実施

(2) 歴史博物館付帯事業 705 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

物販等ショップの運営

自動販売機設置

(3) 旧小澤家住宅付帯事業 10 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、湊町や歴史に関する書籍等を扱ったショップの運営を行う。

物販等ショップの運営

2 施設貸与事業 29,299 千円

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行う。

市民芸術文化会館

音楽文化会館

歴史博物館

旧小澤家住宅